

2024年5月15日

コンコルディア・フィナンシャルグループの取組紹介 (サステナビリティの取り組みについて)

CONCORDIA
Financial Group

 横浜銀行 |  東日本銀行 |  神奈川銀行

1. 中期経営計画の全体像

✓ 当社グループは、2022～2024年度の中期経営計画をソリューション・カンパニーへの転換に向けて変革を加速し、成果を具現化する3年間と位置付け、「Growth」、「Change」、「Sustainability」の3つの基本テーマで取り組みを進めています。



2. サステナビリティ方針と長期KPI

- ✓ サステナビリティに関する全社的な基本方針として、「グループサステナビリティ方針」を定め、本方針に基づき、2030年度までの「サステナビリティ長期KPI」を設定しています。

グループサステナビリティ方針

当社は、経営理念に基づき、持続的な企業価値の向上を実現し、本業を通じて社会的課題を解決するとともに、地域の一員として地域貢献活動に取り組むことにより、社会の持続的な発展に貢献します。

本方針のもと、当社グループはその取り組みについてステークホルダーと対話し、積極的な情報開示をおこないます。

サステナビリティ長期KPI

当社グループは、グループサステナビリティ方針に基づき、2030年度までの「サステナビリティ長期KPI」を設定しています。

「サステナブルファイナンス」の目標達成や外部環境の変化を踏まえて、取り組みを一層進めるため、2023年6月に「サステナビリティ長期KPI」を一部上方修正しました。

2030年度までに
サステナブルファイナンス

実行額 **4兆円** (※1)

うち環境分野ファイナンス2兆円 (※2)

修正前：サステナブルファイナンス実行額2兆円、
うちグリーンファイナンス1兆円



2030年度までに

カーボンニュートラル
(対象はScope1および2)



2030年度までに
金融教育受講者数

50万人 (※3)

修正前：金融教育受講者数10万人



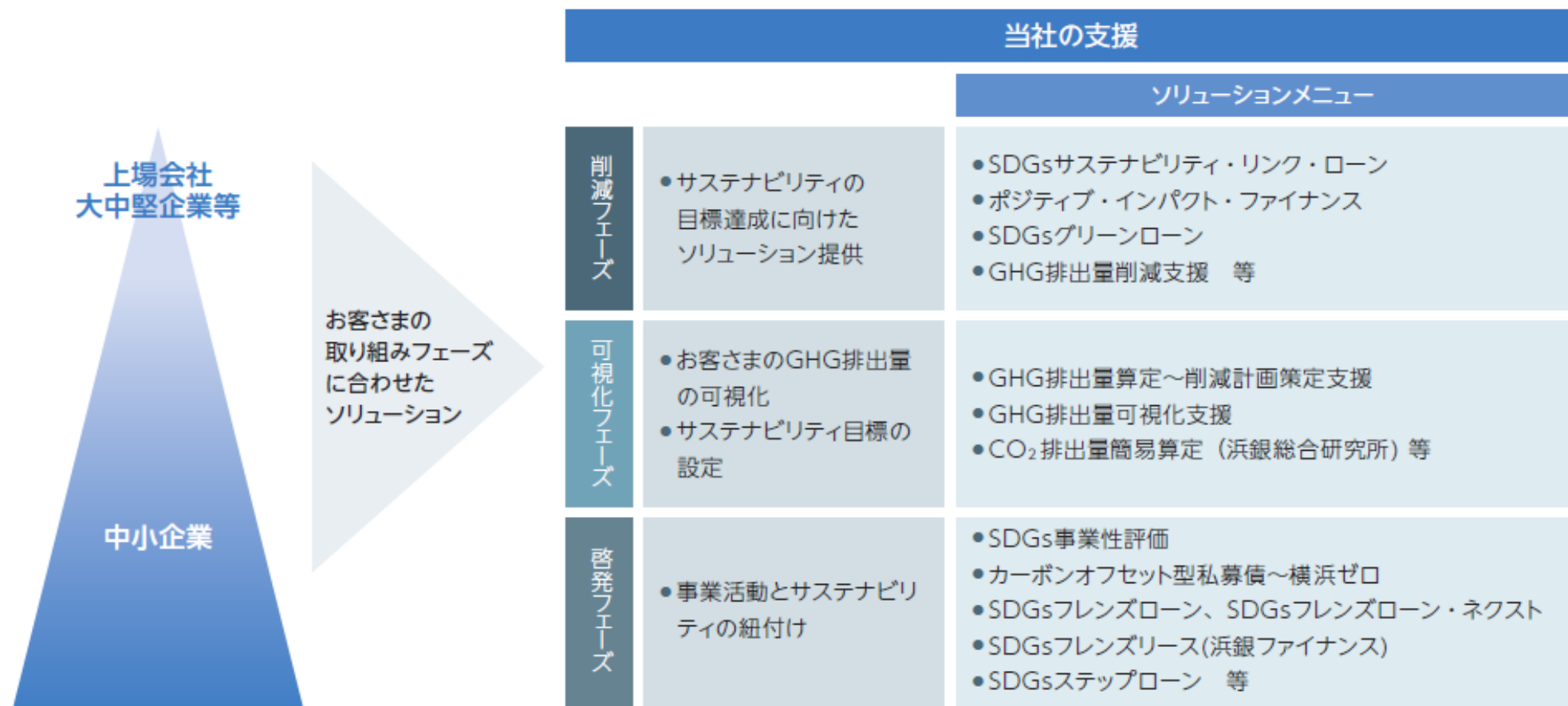
(※1) 当社グループの環境・社会分野を資金使途とする投融資、SDGsへの取り組みを支援または促進する投融資（環境分野ファイナンスは環境分野を資金使途とする投融資）の2019年度から2030年度までの実行額（累計）。

(※2) グリーンファイナンスより名称を変更し目標額を引き上げ。

(※3) 当社グループの実施する各種金融セミナーや職場体験・出張授業などの受講者およびウェブサイト「はまぎん おかねの教室」、「東日本銀行 おかねの教室」への訪問者（ユニークユーザー）の2019年度から2030年度までの合計人数。

3. お客様の取り組みフェーズに応じた最適なソリューションの提供

- ✓ お客様の事業活動とサステナビリティの紐づけ（啓発）から、GHG排出量の可視化、削減まで、お客様の取り組みフェーズに応じた最適なソリューションを提供することで、お客様の課題解決に貢献しています。

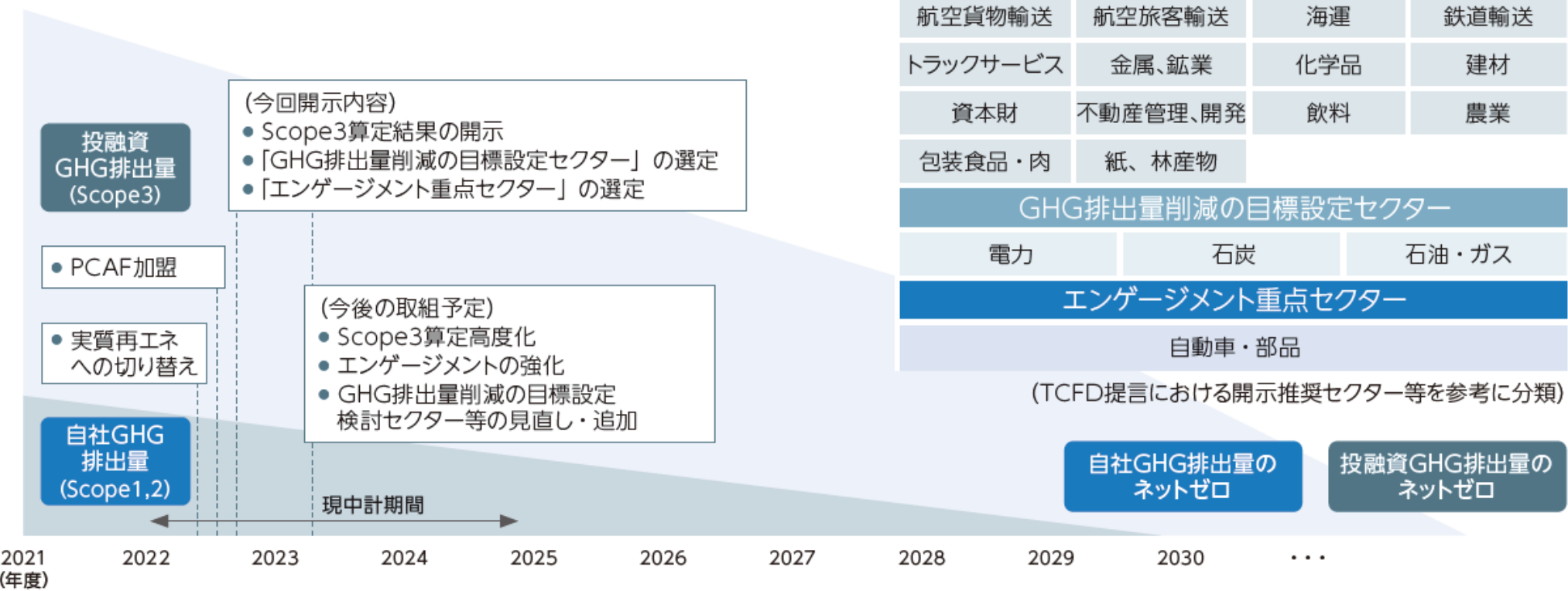


4. GHG排出量ネットゼロに向けた全体像

✓ 当社グループの投融资ポートフォリオの特性に応じて優先セクターを設定し、GHG排出量ネットゼロに向けた取り組みを進めています。

GHG排出量ネットゼロに向けた今後のロードマップ

ネットゼロの実現に向けて、自社および投融资先のGHG排出量削減に向けた取り組みを加速していきます。



※当社2023統合報告書より抜粋

5. 取組事例（お客さまのGHG排出量の算定支援）

- ✓ 横浜銀行はGHG排出量の算定・削減サービスを手掛けるアスエネ株式会社および株式会社ゼロボード等と連携し、GHG排出量の算定に関する実証実験を通じてお客さまの脱炭素の取り組みを支援しました。

【実証実験の狙い】

- ・お客さまのScope1,2,3の算定、GHG排出量削減に関する取組支援、TCFDへの活用など

